



大石産業株式会社

2022年3月期 決算補足説明資料

第76期（2021年4月～2022年3月）

証券コード：3943

2022年5月13日

顧客のために

常に新しく価値ある商品・サービスを提供する

従業員のために

働きがいのある豊かな生活を実現する

投資家のために

成長分野で、優れた業績を約束する

社会のために

社会と地域に有用な存在となる

地球環境のために

地球環境の保全に貢献する

1. 2022年3月期 決算概要

2. 2023年3月期 業績予想

3. 株主還元

4. 補足資料



1. 2022年3月期 決算概要

前年同期比＜増収増益＞

- 売上高は、昨年度コロナ禍において落ち込んだ需要の回復に加え、食品容器用フィルムが好調であったこと等により、増収となりました。
- 利益は、国内主要4製品と商品、関係会社での増収効果により、増益となりました。

（単位：百万円）

	2021/3 実績	2022/3 実績	前期比	増減率（%）
売上高	18,595	19,752	+1,157	6.2
営業利益	1,212	1,288	+76	6.3
経常利益	1,404	1,528	+123	8.8
親会社株主に帰属する 当期純利益	946	1,056	+110	11.6

連結貸借対照表

OSK

(単位：百万円)

	2021/3/31	2022/3/31	増減額	増減率 (%)	主な増減要因
流動資産	13,697	15,056	+1,358	9.9	現金及び預金、 電子記録債権等の増加
固定資産	8,795	9,149	+354	4.0	有形固定資産の増加
資産合計	22,493	24,205	+1,712	7.6	
流動負債	5,772	6,557	+784	13.6	支払手形及び買掛金、 電子記録債務等の増加
固定負債	1,982	1,920	▲61	▲3.1	長期借入金の減少
負債合計	7,755	8,477	722	9.3	
純資産合計	14,738	15,728	+989	6.7	
負債純資産合計	22,493	24,205	+1,712	7.6	
自己資本比率	65.4%	64.8%	▲0.6%		

(単位：百万円)

	2021/3	2022/3	増減額	増減率 (%)	主な増減要因
売上高	18,595	19,752	+1,157	6.2	国内主要4製品と商品、関係会社で増加
売上原価 (原価率)	14,450 (77.7)	15,441 (78.2)	+990	6.9	
売上総利益	4,144	4,311	+166	4.0	増収効果
販売費及び一般管理費	2,932	3,023	+90	3.1	
営業利益	1,212	1,288	+76	6.3	
(営業利益率)	6.5%	6.5%	0%	—	
営業外収支	192	240	+47	24.6	
経常利益	1,404	1,528	+123	8.8	
特別損益	▲8	▲13	▲5	—	
税金等調整前当期純利益	1,396	1,515	+118	8.5	
法人税等	447	454	+6	1.5	
親会社株主に帰属する 当期純利益	946	1,056	+110	11.6	

(単位：百万円)

	2021/3	2022/3	増減額	主な増減要因
営業活動CF	1,680	1,748	+67	税金等調整前当期純利益の増加
投資活動CF	▲416	▲642	▲225	有形固定資産の取得による支出の増加
財務活動CF	▲336	▲337	▲0	
現金及び現金同等物の期末残高	6,831	7,621	+789	

セグメント別売上高

(単位：百万円)

	2021/3	2022/3	増減額	増減率 (%)	主な増減要因
緩衝機能材事業	8,656	9,126	+470	5.4	
パルプモールド	4,739	4,992	+252	5.3	外食向け持ち帰り用トレー・事務機器向け好調、業務用鶏卵トレーの需要回復
段ボール	3,063	3,176	+112	3.7	工業分野好調により増収
成型	852	957	+105	12.3	生産性の向上による受注増
包装機能材事業	9,555	10,246	+690	7.2	
フィルム	3,882	4,292	+410	10.6	食品容器用フィルム好調、工業分野向けキャストフィルムの半導体向け需要の伸び等
国内重包装袋	3,412	3,662	+250	7.3	化学薬品向けの需要回復
海外重包装袋	2,261	2,290	+29	1.3	
その他	383	380	▲2	▲0.8	
合計	18,595	19,752	+1,157	6.2	

緩衝機能材事業

- パルプモールド
鶏卵トレー等 (畜産用)
青果物トレーおよびポット (農業用)
輸送用緩衝材 (工業用)
- 段ボール
段ボールケース (農畜産用、食品用、工業用)
段ボールシート (製函用)
- 成型品
食品トレー (食品用)



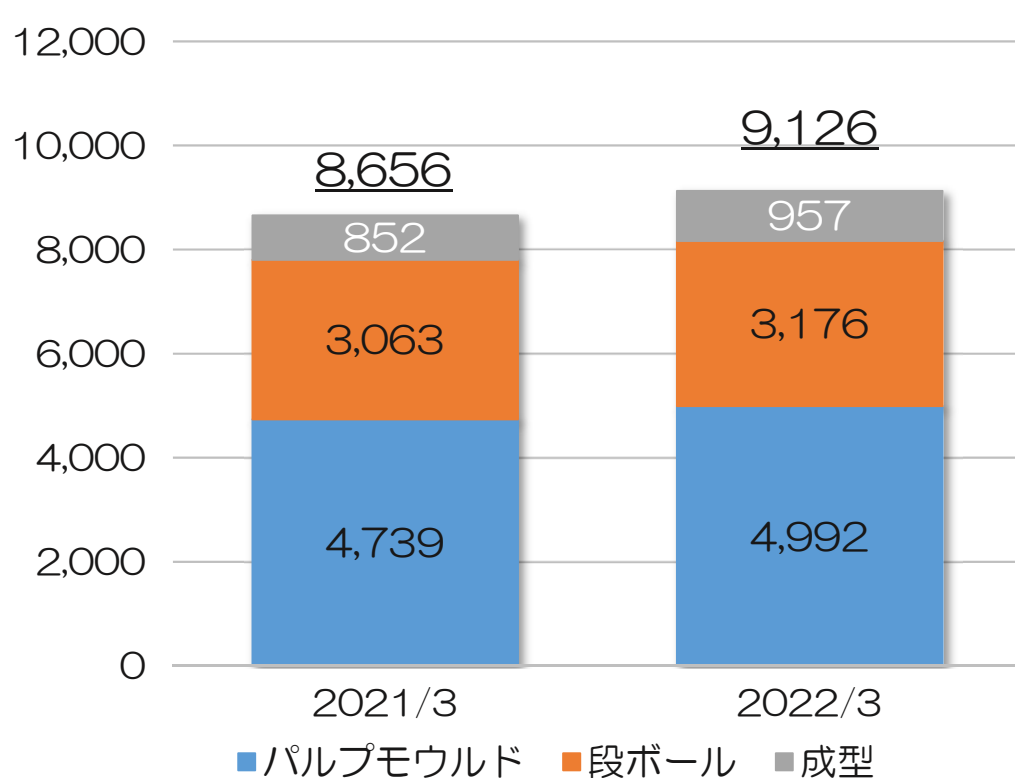
包装機能材事業

- フィルム
ポリスチレンフィルム (食品用、工業用)
キャスト製法プラスチックフィルム (食品用、工業用)
- 樹脂袋
重包装ポリエチレン袋 (肥料用、合成樹脂用、化学薬品用)
- 紙袋
大型クラフト紙袋 (合成樹脂用、化学薬品用、製粉用、飼料用)
ラミネート製品 (大型クラフト紙袋用)



売上高

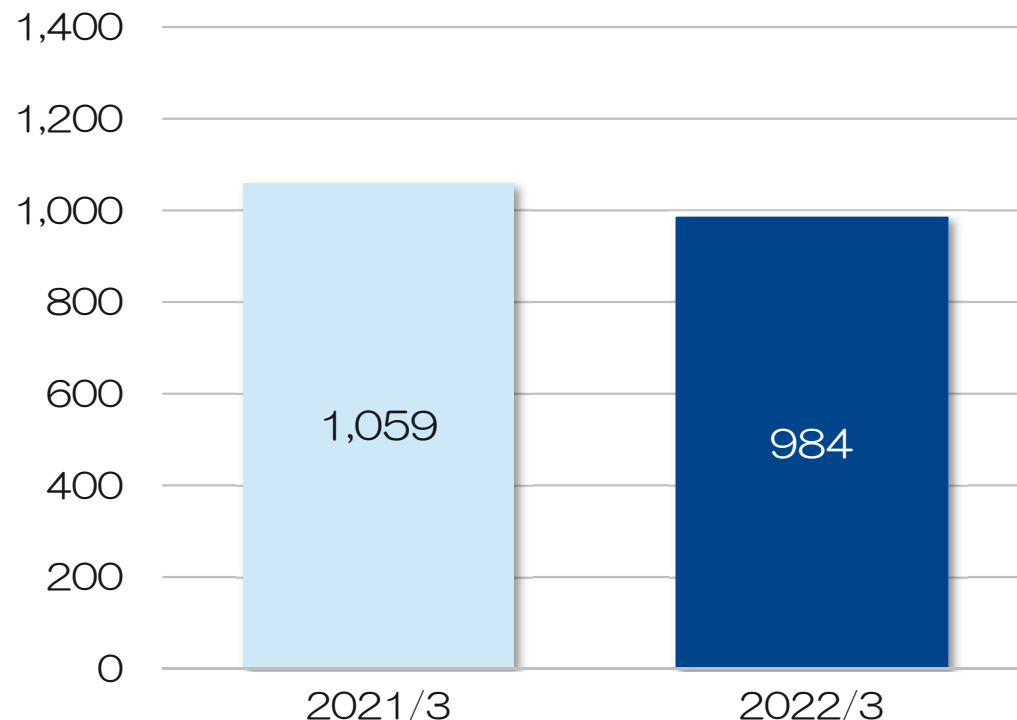
470百万円増加 (5.4%)



セグメント利益

(単位：百万円)

75百万円減少 (▲7.1%)

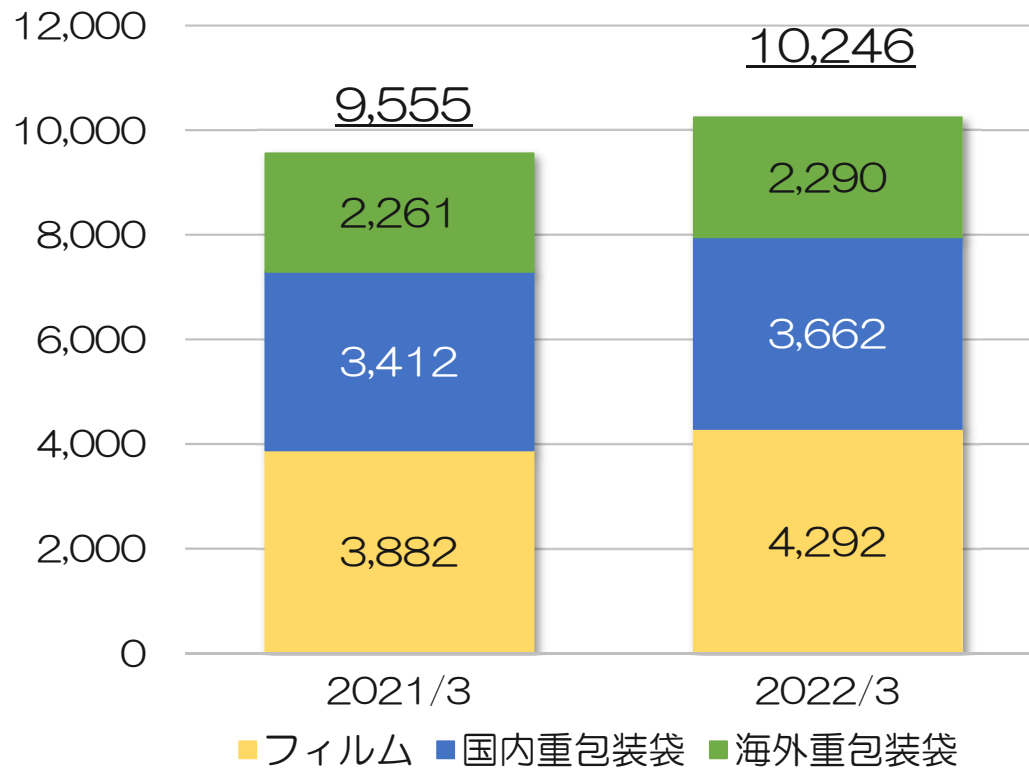


- 売上高は、パルプモールド部門で外食向け持ち帰り用トレー・事務機器向けの好調、業務用鶏卵トレーの需要回復、また、段ボール部門での工業分野が好調となり増収。
- セグメント利益は、パルプモールド部門での燃料価格高騰による補助材料費等の増加、また、成型部門での生産性の低下により減益。

(単位：百万円)

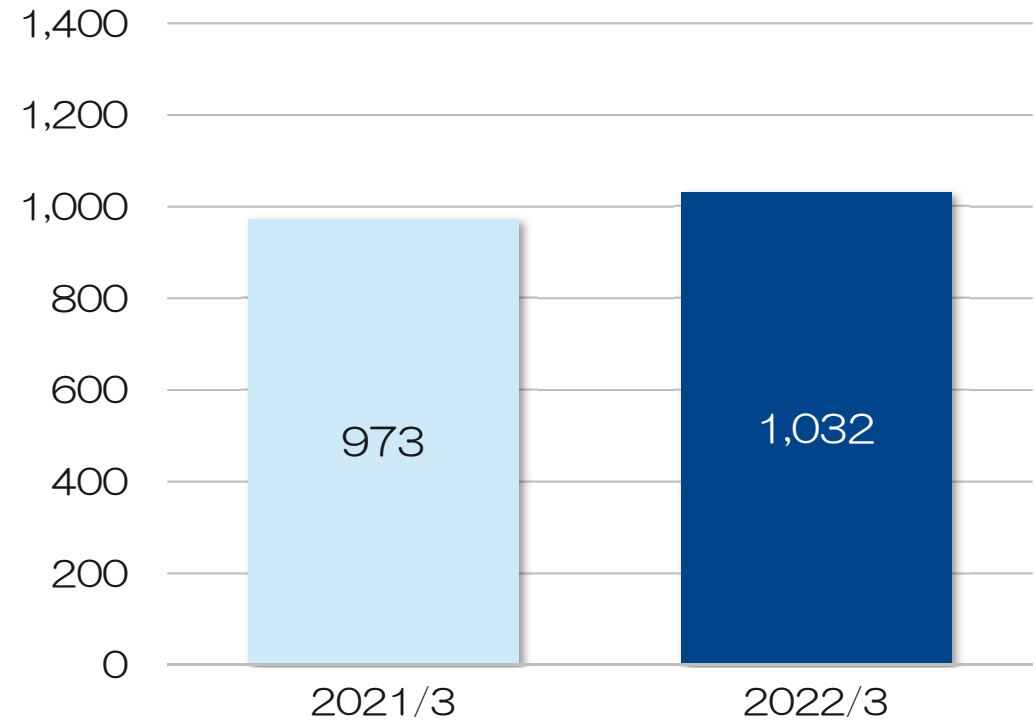
売上高

690百万円増加 (7.2%)



セグメント利益

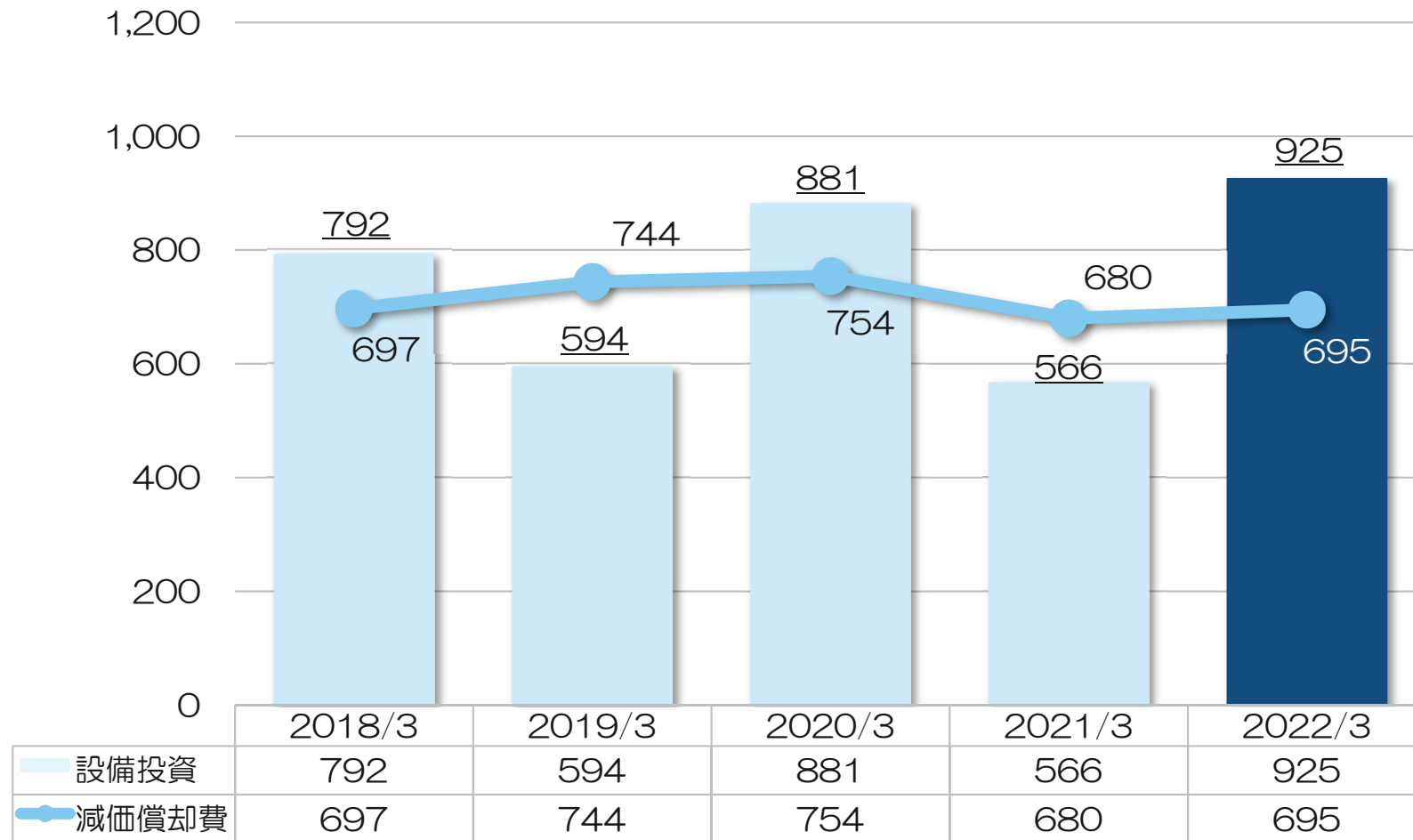
59百万円増加 (6.1%)



- 売上高は、フィルム部門で食品容器用が好調に推移、工業分野向けキャストフィルムが半導体向け需要の伸び等、また国内紙袋部門で化学薬品向けの需要回復、海外紙袋部門で合成樹脂向けの需要回復もあり増収。
- セグメント利益は、主に増収効果により増益。

設備投資額・減価償却費

(単位：百万円)



<主な設備投資>

- ・パルプモウルド事業部製造部 茨城工場 / 機械装置 224百万円
- ・フィルム事業部製造部 樹脂成型工場 / 建物 64百万円
- ・紙袋事業部製造部 小倉工場 / 工具器具備品 52百万円

2. 2023年3月期 業績予想

2023年3月期 業績予想 (連結)

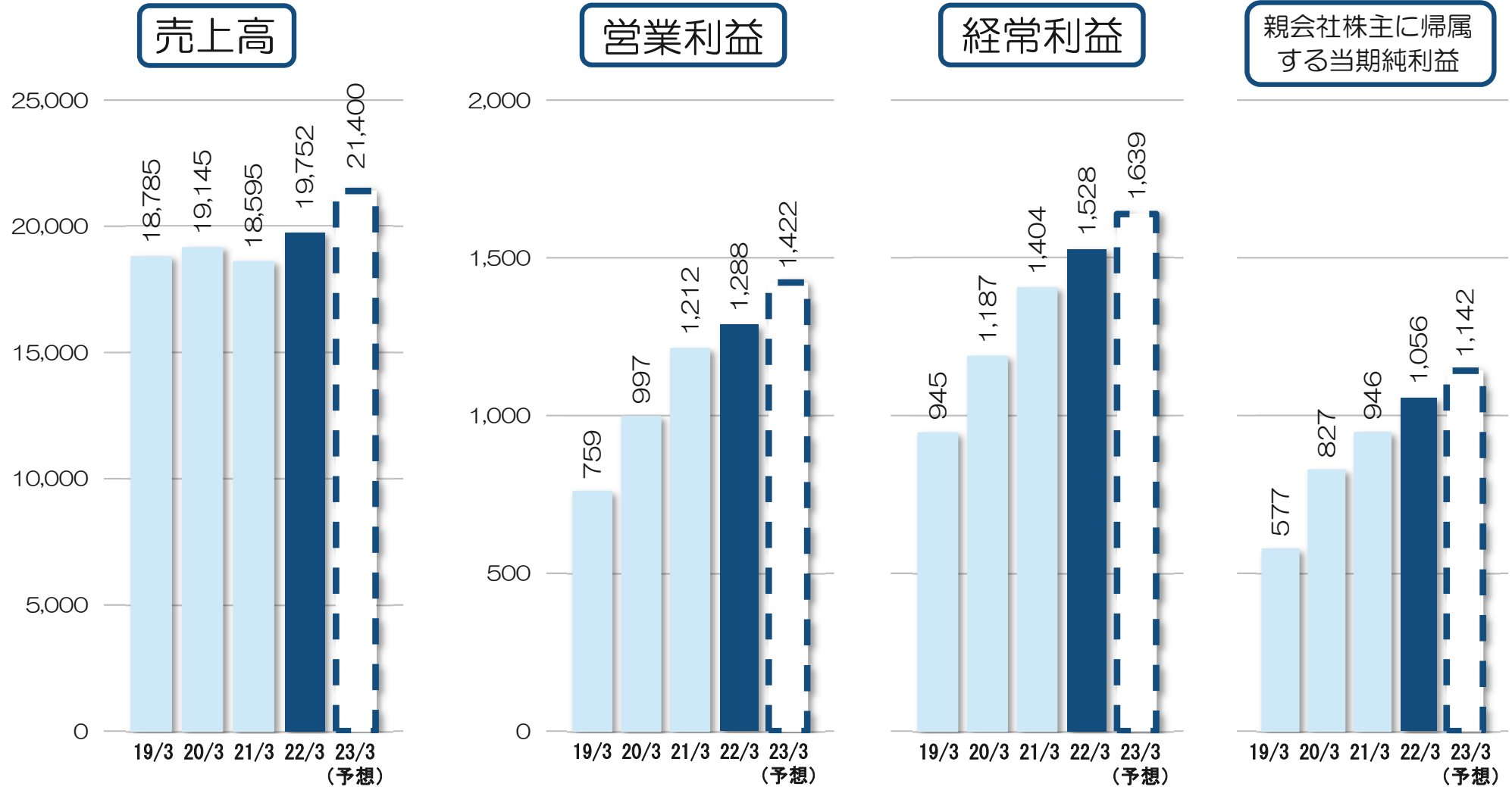
OSK

(単位：百万円)

	2022年3月期 実績	2023年3月期 予想	増減額	増減率 (%)
売上高	19,752	21,400	+1,647	8.3
営業利益	1,288	1,422	+134	10.4
経常利益	1,528	1,639	+110	7.2
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,056	1,142	+86	8.2

売上高・利益の推移

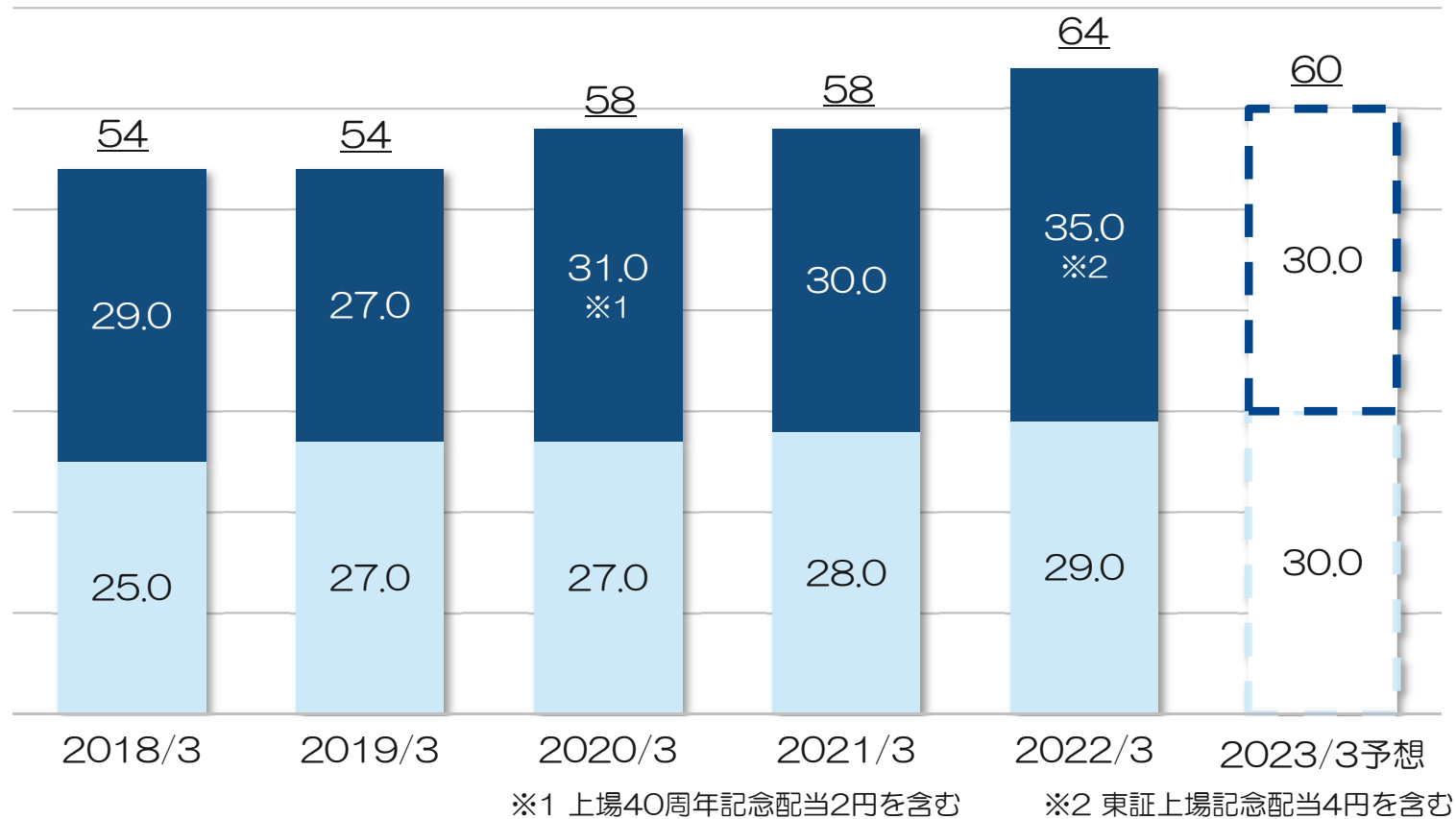
(単位：百万円)



- 売上高は、増収を見込んでおります。
- 利益は、4期連続の増益を見込んでおります。

3. 株主還元

1株当たり配当金（■中間配当 ■期末配当）（単位：円）



- 当期の期末配当金は前回予想から2円増配の1株あたり35円（東証上場記念配当4円を含む）とし、支払開始日は2022年6月8日とすることを2022年5月13日開催の取締役会において決議しております。
- 中間配当金（1株あたり29円）とあわせて年間配当金は前期と比べ6円増配の1株あたり64円となります。

	2018/3	2019/3	2020/3	2021/3	2022/3
配当性向 (%)	23.9	37.0	27.0	23.7	23.4
D O E (%) (株主資本配当率)	1.7	1.6	1.7	1.6	1.6
決算日株価 (円)	2,200	1,465	1,515	1,815	1,771
配当利回り (%)	2.5	3.7	3.8	3.2	3.6
P E R (倍) (株価収益率)	9.7	10.1	7.1	7.4	6.5
R O E (%) (自己資本当期純利益率)	7.0	4.3	6.1	6.7	7.0

4. 補足資料

社名	大石産業株式会社
設立	1947年（昭和22年）2月
所在地	〒805-0068 福岡県北九州市八幡東区桃園二丁目7番1号
資本金	466,400,000円
株主数	1,634名
決算期	3月
従業員数	333名（グループ 531名）
連結子会社	株式会社アクシス、CORE PAX(M) SDN.BHD. ENCORE LAMI SDN. BHD.、柳沢製袋株式会社

※2022年3月末時点

大石産業株式会社

OHISHI SANGYO CO., LTD.

本資料の将来に関わる一切の記述内容は、現時点で入手可能な情報に基づく当社の判断によるものですが、現状または将来のリスクや不確実な要素が含まれています。

また、実際の業績は経済情勢の変化、法的規制の変化、自然災害等により変動する可能性があります。